

【参考文献】

- 岩本俊孝・坂田拓司・中園敏之・歌岡宏信・池田浩一・西下勇樹・常田邦彦・土肥昭夫 2000.
糞粒法によるシカ密度推定式の改良. 哺乳類科学, 40:1-17.
- 江崎保男・和田岳 (編著) 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発. 225pp.
- 環境庁自然保護局近畿地区国立公園事務所・野生生物事務所、大台ヶ原地区トウヒ林保全対策検討会 2000. 大台ヶ原地区トウヒ林保全対策事業実績報告書-平成6年～平成10年-. 89pp.
- 環境庁自然保護局吉野熊野国立公園管理事務所 1989. 大台ヶ原トウヒ林保全対策事業実績報告書 - 昭和61年～63年-. 75pp.
- 環境庁自然保護局吉野熊野国立公園管理事務所 1989. 大台ヶ原トウヒ林保全対策事業実績報告書 - 平成元年～5年度事業 -. 74pp.
- 高橋郁雄 1991. エゾマツの生育過程と菌類相の遷移 - 特に天然更新に対する菌類の役割 -. 東大農学部演習林報告, 86:201-273.
- 高橋康夫・後藤晋・笠原久臣・犬飼雅子 2002. 人工微地形がエゾマツ実生の発生定着に及ぼす効果. 日本林学会誌, 84:184-187.
- 北海道営林局 1984. 北海道における天然林施業 (ササ地における天然林施業) . 214pp.
- 三重県自然科学研究会 1972. 大杉谷・大台ヶ原自然科学調査報告書. 285pp.
- 宮脇昭 (編著) 1984. 日本植生誌 近畿. 596pp. 至文堂
- レッドデータブック近畿研究会 (編著) 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物 - レッドデータブック近畿 2001-. 164pp.
- 山本進一 1986. 樹木実生の定着様式 - 芽生えの個体群統計学 -. 森林文化研究, 7:49-56.